

生涯学習情報紙

2024



発行：大和村教育委員会事務局・中央公民館

第372号

第20回大島地区生涯学習推進大会 ・第23回大島地区広域文化祭

11月16日(土)に和泊町で地区生涯学習推進大会・広域文化祭が、開催されました。オープニングは、和泊中吹奏楽部、知名中吹奏楽部のすばらしい演奏から始まり、株式会社 新日本科学社長 永田 良一氏による地域興しの記念講演がありました。また、和泊町・知名町の伝統芸能では、曲に合わせたリズムカルで熱心な踊り等が披露されました。



県体記念グランドゴルフ大会

来る12月8日(日)にフォレストポリスで開催されます。多くのみなさんの参加をお待ちしております。

高倉移転補修完成

10月29日に思勝の高倉移転補修事業が終了しました。この高倉は、大和村思勝在住の赤井重和さんから大和村に寄贈されたものです。この度の事業で、赤井さんの自宅前の庭から役場裏の役場職員第2駐車場内に移転されました。この高倉も奄美群島の他の地区では使用されていない「リュウキュウチク」を使用しています。きれいになった高倉をぜひ見にいってください。



学芸員の 大和村あまくま訪ね歩き



伊予ドン、黄イドン

かつて大和村で鰹漁が操業されていた荒波地区を中心に、「伊予ドン」「伊予バンス」「黄イドン」等と呼ばれる黄色いイモが栽培されていたといえます。そのイモは、糖度が高く、水分が少なくホクホクした栗のような食感の格別の美味しさを持つイモだそうです。福元地域で栽培されたものは、特に美味しかったそうです。

その伝来については、鰹漁船の新造船を愛媛県でした際に持ち帰られたから「伊予ドン」(戸円)、新造船を宮崎県延岡市でした際に持ち帰られたもので「黄イドン」と呼ばれる(名音)等、諸説あります。呼び方も、ほかにも「伊予バンス」「黄ィバンス」等とも呼ばれています。

産業振興課におたずねしたら、最近までそのイモを栽培していた方を何名か教えていただいたので、またお話をうかがってこようと思います。みなさんが、あんなに美味しいイモはないと口々に語られるのですから、きっと安納芋にも負けないすごいイモにちがいありません。黄色いイモの情報を何でもよいので教えてください。



写真 伊予ドン、黄イドン
(大和村パンフレットより)